

大室山 小室山

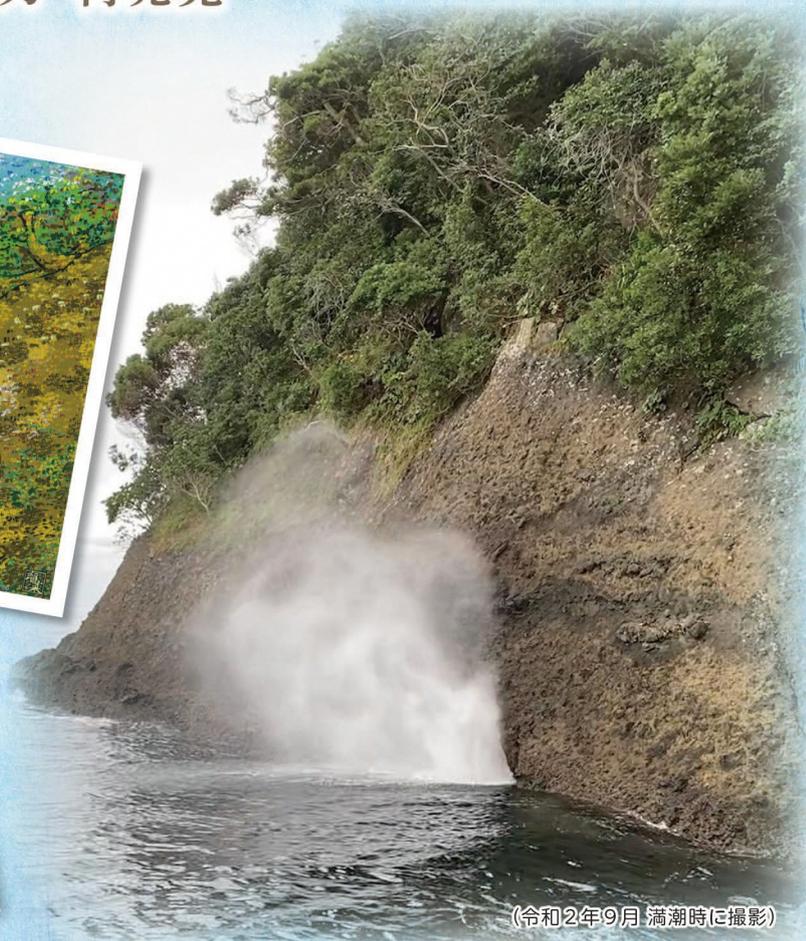
市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

「伊東かるた」とめぐる

“伊東の魅力”再発見



(令和2年9月 満潮時に撮影)

汐吹岩

沖に手石島を望む汐吹海岸の見どころは、潮の干満によって洞穴から潮が吹き上がる汐吹岩です。名前のとおり、ドーンという爆発音とともに潮を吹き上げます。(伊東八景)

「伊東かるた」解説書より

※伊東の自然・歴史・文化を題材にした「伊東かるた（第二版）」（伊東かるたの会制作）の中から「伊東の魅力再発見」をテーマに、編集委員が選んだお気に入りの札を写真とともにご紹介します。

主な内容

- 9月定例会の概要 [P. 2]
- 決算大綱質疑 [P. 4]
- 一般質問..... [P. 7]
- 常任委員会だより [P. 11]
- 特別委員会中間報告 [P. 12]



令和2年9月定例会

令和元年度一般会計・特別会計・企業会計決算を含む

27件の議案等を審議、決定

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市報第3号	令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)及び公営企業会計の資金不足比率の報告	市長	(報告・質疑のみ)
市議第22号	伊東市消費生活センター条例	相談内容の高度専門化及び件数増加に対応するため、消費生活センターを開設するもの	市長	全会一致で可決
市議第23号	伊東市経済変動対策資金貸付金(新型コロナウイルス感染症対応枠)利子補給基金条例	新型コロナウイルス感染症対応枠の伊東市経済変動対策資金貸付金に係る利子補給の経費について、国の地方創生臨時交付金を活用して財源に充てるため、基金を設置するもの	市長	全会一致で可決
市議第24号	伊東市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症及びその蔓延防止の措置が納税者等に及ぼす影響の緩和を図るため、地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴う改正	市長	全会一致で可決
市議第25号	伊東市都市計画税賦課徴収条例の一部を改正する条例	同上	市長	全会一致で可決
市議第26号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	マイナンバーを通知する通知カードの廃止に伴う、通知カード再交付手数料に関する規定の削除と引用条項の整理	市長	全会一致で可決
市議第27号	令和元年度伊東市病院事業会計資本金の額の減少について	令和元年度伊東市病院事業会計資本金33億5,786万3,156円のうち、旧市民病院施設の解体による除却分2億478万5,503円を減少し欠損金に振り替えることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第28号	令和元年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和元年度伊東市水道事業会計未処分利益剰余金9,931万4,913円のうち、4,215万5,242円を資本金へ組み入れ、残余を繰り越すことについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長	全会一致で可決
市議第29号 	令和2年度伊東市一般会計補正予算(第7号) ^{*1}	新型コロナウイルス感染拡大への対応経費、観光宣伝委託事業などの観光関連経費、GIGAスクール構想加速化に伴う小・中学校1人1台パソコン整備に係る経費等の追加と、経済変動対策資金貸付金利子補給基金及び財政調整基金への積立てなどの経費として9億3,592万円6,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第30号	令和2年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	確定した国民健康保険事業納付金について整理するとともに、令和元年度分交付金精算に伴う県支出金返還金減額など	市長	全会一致で可決
市議第31号	令和2年度伊東市下水道事業会計補正予算(第1号)	既に実施している水道料金徴収等業務委託と併せて実施し、上下水道料金徴収業務の整理及び効率化を図るため、下水道使用料金関連業務の債務負担行為を追加するもの	市長	全会一致で可決
市議第32号	伊東市新型コロナウイルス感染症に感染した被保険者等に対する傷病手当金の支給に関する条例の一部を改正する条例	新型コロナウイルス感染症に感染した(感染が疑われる場合を含む。)国民健康保険加入の被用者に対して支給する傷病手当金について、国の財政支援期間に合わせて適用区分を延長するもの	市長	全会一致で可決
市認第5号 市認第14号 	令和元年度伊東市一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算7件、企業会計決算2件	地方自治法第96条第1項第3号に基づく各会計の令和元年度歳入歳出決算の認定	市長	3ページの表をご覧ください

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市選第15号	教育委員会委員任命の同意について	村上恵宏氏（吉田）再任	市長	全会一致で任命に同意
市選第16号	監査委員選任の同意について	杉山雅男氏（湯川）再任	市長	全会一致で選任に同意
発議第2号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣、経済再生担当大臣、まち・ひと・しごと創生担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員10名 ^{※2}	全会一致で可決
発議第3号	ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員10名 ^{※2}	全会一致で可決
発議第4号	防災・減災、国土強靱化対策の継続・拡充を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（防災）、国土強靱化担当大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員10名 ^{※2}	全会一致で可決

※1：令和2年度伊東市一般会計補正予算（第7号）において、議員の旅費300万円を削減しました。
 ※2：各会派代表者及び会派に所属していない議員全員

令和元年度 市長決算概要説明（要旨）

予算編成の背景

令和元年度当初予算は、国の景気が緩やかな回復基調を示す中、本市の来遊客数及び入湯客数は微減するなど、依然として厳しい状況が続く中で編成された。財政健全化に向けた取組を着実に進めつつ、公約に掲げた「未来を拓く取組」の三本柱である、「みんながつくる伊東市」、「みんなが楽しい伊東市」、「みんなが暮らす伊東市」のさらなる前進に向けて事業の選択と集中を行うとともに、市民の皆様からいただいた声を基に事業の磨き上げや創設を行った。

一般会計決算概要

一般会計歳入決算額は対前年度比二・三％の増、歳出決算額は対前年度比三・九％の増となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、三億四九八万二〇〇円であった。

歳入決算では、自主財源

で大きな比重を占める市税が前年度収入額を〇・八％下回り、また市立保育所保育料の減少により使用料及び手数料が対前年度比で五・四％減、自主財源全体でも対前年度比一・〇％の減少となった。依存財源では各種交付金が減少したが、子ども・子育て支援臨時交付金や地方交付税の増加により、対前年度比で六・三％増加した。

令和元年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

一般会計決算

歳入	歳出	審議結果
278億5,116万円	273億3,424万円	○

特別会計決算

会計	歳入	歳出	審議結果
下水道事業	20億8,064万円	20億3,723万円	◎
競輪事業	208億6,234万円	205億1,331万円	◎
国民健康保険事業	90億4,693万円	89億 891万円	◎
土地取得	2,609万円	2,601万円	◎
霊園事業	3,603万円	3,576万円	◎
介護保険事業	82億5,630万円	82億1,125万円	◎
後期高齢者医療	20億9,700万円	20億7,509万円	◎
合計	424億 533万円	418億 756万円	◎

※下水道事業は、令和元年度まで特別会計でしたが、令和2年度から地方公営企業会計に移行しました。

企業会計決算

会計	収入	支出	審議結果	
病院事業	収益的収支	4億5,517万円	5億6,359万円	◎
	資本的収支	9,992万円	1億5,726万円	
水道事業	収益的収支	16億9,463万円	15億8,412万円	◎
	資本的収支	2億6,510万円	9億1,240万円	

歳出決算では、経常経費において公債費が四・三％減少し、プレミアム付商品券事業などにより物件費が一三・二％、小規模保育所施設型給付費等により扶助費が三・〇％、それぞれ対前年度比で増加した。投資的経費は、普通建設事業において、小中学校空調設備設置事業等の実施により、対前年度比で二・二％と大幅に増加している。また、地域タウンミーティングや「市長への手紙」、未来ビジョン会議を

開催し、ボトムアップによる市政運営に取り組みとともに、住宅リフォーム振興補助事業や、一億円に及ぶ小規模修繕工事を地元業者へ幅広く発注するなど、市民サービスの向上と市内経済の活性化に努めた。

本市の財政状況

職員の人件費を含む全ての事務事業の見直しなど、一貫して継続してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、基金への積立てなど、将来を見据えた財源の確保ができており、財政指標も含め、本市の財政の健全性は維持できていると判断している。

これまで「有言実行！みんなとともに」を基本理念に、未来を拓く施策の推進に邁進してきた。現在、新型コロナウイルス感染症とこのない危機に直面しているが、市民の皆様の命を第一に、今後も本市の発展に努めていく。

決算大綱質疑

会派及び会派に所属していない議員ら6議員が質疑しました

～決算概要説明及び各会計決算に係る議案について～

(文面の掲載量は、会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は9ページをご覧ください。)



正風クラブ
みやままさしげ
(宮崎雅彦議員)

歳入決算における収入率の状況及び不納欠損額について伺う

市長

納税指導や滞納整理を強化し、市税等の収納率の向上に努めた

一般会計における収入率は、対予算現額で九六・五％、対調定額では九五・九％となっており、この五年間で、対予算現額ではマイナス〇・九ポイントとなったものの、対調定額については、プラス四・七ポイントとなっている。これは、歳入の根幹をなす市税において、納税指導や滞納整理を強化してきた結果である。

滞納市税については、財産調査を徹底し、個々のケースに応じた速やかな滞

納整理を進めることにより、収入未済額の圧縮を図った。また、不納欠損額については、市税をはじめとした一般会計及び各特別会計において発生したが、それぞれについて法律を遵守し処理をした。不納欠損の主な理由としては、破産・倒産などにより換価できる財産がないことや、実態調査したが所在不明、低所得で負担能力がないことなどが挙げられる。

ふるさと伊東応援寄附金の申込み状況と本市の考えについて伺う

市長

返礼品の新規開発等の工夫により、前年度実績に対し大幅な増となった

令和元年度のふるさと伊東応援寄附金は、五四七七件、三億六二〇六万二五〇〇円であり、返礼品の新規開発や内容の随時見直し等の工夫により、前年度実績に対し大幅な増となった。

今後については、コロナ禍の影響により、巣籠もり消費の増加が予想されることから、地場産品の発掘に努め、返礼品の数を増やすとともに、さらにはアフターコロナを見据え、宿泊券等の体験型サービスの返礼品についても十分な受入れができるよう、提供可能な宿泊施設の増加に努めることにより、寄附額を確保していきたい。

『その他の質疑』 一三項目

定例会における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

マスク着用、消毒液の設置とともに、議場、委員会室の全ての出入り口を開放して換気を促し、会議に臨みました。

マスク未着用とした演壇にはアクリル板を設置した上で、発言後は、その都度アルコールによる演壇の消毒を実施しました。

※議員写真にアクリル板が写っています。ご了承ください。



清和会
すずもとかずや
(杉本憲也議員)

生活困窮者自立支援事業の
事業実績及び課題を伺う

市長

個々の状況に応じた適切な
支援を行うことで、家計
改善や就労による自立へ
とつながった

生活困窮者の相談窓口で
ある、くらし相談センター
「こころ」において、一一
七件の相談を受ける中で、
個々の状況に応じて自立支
援プランや家計再生プラン
を作成するなど継続的な支
援を行い、七人の家計が改
善、九人の就労につながっ
た。直ちに一般事業所への
就労が難しい方に対しては、
就労準備支援プログラムに
基づく健康管理や職業訓練
を行い、生活保護者と合わ
せて九人が就労した。
また、子供の学習などに

課題を抱える世帯に対して
は、学校と連携した学習支
援や保護者への養育支援を
行った。

さらには、離職により経
済的な困窮から住居を失う
おそれのある方に対しては、
住居確保給付金を給付し、
住居のない生活困窮者に対
しては、宿泊場所と食事の
提供等による一時的な生活
支援を行うとともに自立に
向けた支援を行った。

今後の課題として、生活
困窮者の多くは、経済的困
窮だけではなく、複数の要
因を抱えていることが多い
ため、包括的な支援が行え
るよう、関係機関との連携
を強化して取り組むことも
に、さらなる事業周知を
図っていく。

『その他の質疑』一六項目

ことばの解説

決算大綱質疑

九月定例会において行われる
決算概要説明及び決算に係る議
案に対する質疑。質疑時間は、
議員一人につき二〇分を基本と
し、会派及び会派に所属してい
ない議員により実施する。



自民・伊東新時代。
おおかわかつひろ
(大川勝弘議員)

デジタルマーケティング
事業について、進捗状況、
成果及び見通しを伺う

市長

景勝地や街の風景などの
映像をYouTube広告を
活用して動画配信し、大変
大きな効果があった

本事業については、令和
二年開催予定であった東京
2020オリンピック・パ
ラリンピックで日本に注目
が集まる好機を捉え、本市
を世界にPRする取組とし
て実施した。

具体的には、本市の観光
スポットを中心に、景勝地
や街の風景、宿泊施設や特
色のある食の映像などを8
Kの美しい映像で撮影し、
アメリカ、台湾をはじめと
した世界十か国を対象に、
YouTube広告を活用し

た動画配信を行った。

配信した動画は、世界中
の多くの方から称賛のメッ
セージをいただいたほか、
広告として配信を行った約
二週間で二一〇〇万回以上
の再生を記録したことから
自治体が実施したデジタル
マーケティング施策の中で
も好事例として注目された
ほか、Googleが運営する
マーケティングの好事例紹
介ポータルサイトでも紹介
されるなど、大変大きな成
果があったと評価している。
今後は、動画配信によっ
て得られたデータの分析を
行い、さらにターゲットを
絞った配信を継続していく
とともに、柔軟かつ迅速に
対応することが可能なデジ
タル施策を拡充していくこ
とで、効率的で効果的な
マーケティングを進めてい
く。

『その他の質疑』一九項目



介護予防事業及び認知症
対策に係る事業の取組状況
及び成果について伺う

市長

介護予防・認知症対策とも
に、様々な事業を実施した

介護予防事業の主な取組
としては、生活機能の向上
を図り、日常生活の中で積
極的・継続的に介護予防を
行うための介護予防教室や、
体力の維持向上を目的とし
た健康体操クラブを開催し
た。あわせて、社会福祉法
人や地域住民が主体となっ
た居場所の立ち上げにも力
を入れたことから、居場所
は市内五九か所となり、介
護予防活動や運動継続など
の取組を行っている。
これらの取組により、介
護予防に対する意識の向上
及び健康増進が図られ、高



公明党
ながいまさし
(長沢正議員)

高齢者人口は増えているにも関わらず、要支援者は平成三〇年度から九二人減少した。

認知症対策については、高齢者福祉課内に認知症予防支援員を配置し、認知症サポート医等との連携を図るとともに、認知症への理解普及を目的とした講演会や認知症サポーターの養成講座を開催したほか、認知症の高齢者やその家族に対し、専門職等による相談や情報提供を行う認知症カフェを市内五か所で開催した。

『その他の質疑』 一一項目



移住定住促進現地ナビゲーター事業の成果と今後の課題について伺う



日本共産党
しげあきひろこ
(重岡秀子議員)

市長

相談から現地案内まで、きめ細かに対応し、移住につながった

要望に沿って現地を案内し、本市の魅力を伝えるとともに移住後の生活イメージを持っていただくことで、本市への移住・定住促進を図った。実施した九か月間で、相談のみが一〇件、現地案内が九件、そのうち移住につながったものが一件であった。具体的に検討されている方から漠然と考えている方まで、きめ細かい対応ができたと考えている。今後の課題として、本事業を利用された方の移住に対する意向の把握方法を検

討するとともに、コロナ禍により現地案内が難しい状況であることから、オンラインによる対応を検討していく必要があると考えている。

『その他の質疑』 五項目



たかくほまき
田久保眞紀議員
(会派に所属していない)

まくら投げプロモーション事業の成果及び評価を伺う

市長

団体旅行や企業研修などの市内誘致につながった

本事業については、タレントを起用した宣伝、オリジナル浴衣制作のサービス等を行い、イベントの価値向上を図ることで、団体旅行や企業研修などの誘致に大きな成果があったものと評価している。

『その他の質疑』 二項目

本会議で行われた討論の概要

市議第二九号 令和二年度伊東市一般会計補正予算(第七号)

《賛成》 自民・伊東新時代。

新型コロナウイルス感染症の影響で、市の財政も厳しい状況であるが、国の補助金等を活用し、国の推進するGIGAスクール構想に併せて実施する小・中学生に対する一人一台端末の導入事業や、天城高原地区の光ファイバ網整備事業については、本市のデジタル化をさらに進める上でも重要であると考え、高く評価し賛成する。

会派構成は9ページをご覧ください

市議第五号 令和元年度伊東市一般会計歳入歳出決算

《反対》 田久保眞紀議員

令和元年度決算は、YUKATAにぎわい演出事業、デジタルマーケティング事業など一定の効果があつた、大きな成果があつたとする評価に客観的なデータの裏づけがなく、市民運動場整備実施設計等業務では市民運動場人工芝生化事業の予算審議までに必要な資料の作成が行われなかつた。よって決算の認定はできない。

《賛成》 正風クラブ

決算規模は前年度と比較し増加しているが、財政構造の弾力性は低下している。そのような中で、財政運営やコスト管理、台風の災害復旧や地域活性化事業など評価し認定する。コロナウイルスの影響は大きく、宿泊業をはじめとする市内経済団体の振興を図り、市民



本会議において、マスク未着用とした演壇には、アクリル板を設置しています。中継放送等においてご不便をおかけしておりますが、ご了承ください。

の福祉向上のための各種施策を講じることを期待する。

《賛成》公明党

健全化判断比率の四つの指標は、いずれも健全段階を示しており、財政健全化に向けて着実に前進が図られていることを評価する。

「みんながつくる伊東市」、

「みんなが楽しい伊東市」、

「みんなが暮らす伊東市」

に係る事業のさらなる前進に向け、市民が真に求めている事業への声を聞いていただくことを願い、賛成する。

《賛成》日本共産党

令和元年度予算には反対したが、観光分野では専門家や大学との協働、伊豆高原オフィスの活動など、官民協働、市街地と南部の連携などで進歩が見られた。

また待機児童解消への努力、災害やコロナ対策、学校へのエアコン設置など補正予算の活用も評価し、今後十分な職員の配置などに期待を込め、決算を認定する。

一 般 質 問

11議員が登壇し、市政全般について質問しました

(登壇順に掲載しています。)



しのほらみねこ
篠原峰子議員
(公明党)

小・中学校の特別支援教育の現状及び課題について伺う

本市小・中学校における、特別支援学級及び通級指導教室の在籍者数が増加傾向にある現状を踏まえ、今後の課題について伺う。

教育長

支援を要する児童生徒は増加傾向にあり、拡充を検討していきたい

現在、特別支援学級は、知的が小学校に六学級、中学校に四学級、情緒が小学校に三学級、中学校に二学級配置され、通級指導教室は発達への支援教室が小学校に三教室、ことばの教室が一教室の配置である。

本市は、県全体と比較して通常学級における特別な支援を要する児童の割合が高く、また、特別支援学級

や特別支援学校への就学が相当と判定される児童生徒数も増加傾向にある。

特別支援教育の充実が課題となっており、特別支援学級は、市内の中学校では南中学校のみの設置であるため、他地区への新設や、小学校からの切れ目のない支援を提供するためにも、通級指導教室の中学校への新設など、特別支援教育の拡充を検討していきたい。

『その他の質問』 三項目



すぎもとかずや
杉本憲也議員
(清和会)

市内の防災倉庫の備蓄品及び消化栓・防火水槽の使用に係る手続等について伺う

災害時、市民が安心して避難生活を送るために必要な防災倉庫の備蓄品について、使用に係る手続を伺う

とともに、火災時、迅速な消火を行うための水利の確

保の重要性に鑑み、消火栓及び防火水槽の設置基準や使用条件、使用するための手続について伺う。

市長

備蓄品は災害対策本部の指示のもと使用、消火栓等は消防庁告示「消水利の基準」に基づき設置している

市が管理する防災倉庫の備蓄品については、大規模災害が発生した際に設置される、各地域の災害対策支部に派遣された市職員が、自主防災会からの情報収集を行う中で、災害対策本部の指示の下、避難所等に必要物資を運搬することを想定している。

消火栓や防火水槽については、消防庁告示「消水利の基準」に基づき、令和二年四月一日現在、消火栓二〇四五基、耐震性貯水槽八一基、その他の防火水槽三七四基が設置されている。有事の際には誰もが手続等なく使用可能である。

『その他の質問』 四項目



すぎもとかずひこ
杉本一彦議員
(自民・伊東新時代。)

グラウンドゴルフ及びパークゴルフ競技の推進策及び整備について伺う

グラウンドゴルフやパークゴルフを楽しむ高齢者が増えているが、市民一人一スポーツを推奨する本市において、これら競技に係る今後の推進策を伺う。また、パークゴルフ場の整備は本市の観光戦略にもつながると考え、見解を伺う。

**市長
利用施設の利便性の向上を図るとともに、整備についても検討していく**

グラウンドゴルフについては、現在有効にご利用いただいている市営施設のさらなる利便性の向上を図っていく。パークゴルフについては、活動の場の確保が課題となっており、要望も

いただいていることから、競技団体や関係部局との対話と調整を進め、活動の場の確保を検討していく。

また、パークゴルフ場を整備し競技の推進を図ることは、市民の健康増進に寄与するとともに、観光戦略としても有効な取組であると考え、整備の必要性や公益性なども検証する中で、関連団体の皆様にご意見を伺いながら検討していく。

『その他の質問』 九項目



さとうたつひこ
佐藤龍彦議員
(日本共産党)

公営保育園における保育士の配置状況及び募集に係る課題を伺う

公営保育園において、園児の安全確保と保育の質の向上を図り、子育て環境を整備していくことは、本市の発展へとつながるものと考えていることから、現在の保

育士の配置状況及び募集に当たっての課題等を伺う。

**市長
保育士が保育に専念できるよう環境整備に努めている**

公営保育園四園の保育士の配置状況は、正副園長、クラス担任、障害児加配職員、フリー職員及び子育て支援センター職員として令和二年九月一日現在、正規職員六一人、会計年度任用職員二三人を配置している。また、保育補助者として五人を採用し、保育環境の整備に努めているところである。

保育士の確保については、保育の質の向上とともに、待機児童の解消及び増加傾向にある特別な支援を必要とする園児に対応するため、喫緊の課題として捉えているが、保育士資格を持つ会計年度任用職員の応募はななく、今後は採用方法などを見直す中で人材の確保に努めていきたい。

『その他の質問』 四項目



とりいやすこ
鳥居康子議員
(公明党)

市営天城霊園第三期計画の内容及び今後の計画策定のスケジュールについて伺う

市営天城霊園について、令和二年度は、前年度実施した市民墓所需要調査の分析結果を踏まえ、第三期計画の基礎となる基本設計を作成することであるが、内容及び計画策定のスケジュールについて伺う。

**市長
合葬型墓地の建設等、令和三年度以降の実施設計を予定している**

市営天城霊園第二期計画は、実施設計から二〇年以上経過し、墓地や埋葬形式に対する市民意識の多様化に即しておらず、当該計画どおりに建設する意義を失っていると考え、平成三一年三月で終了した。

第三期計画では、令和元年度に実施した墓所需要調査の結果を踏まえ、合葬型墓地を建設し、併せて、園内の道路の改修や駐車スペースの整備等を進めたいと考えている。今後のスケジュールについては、今年度作成する基本設計を基にして、令和三年度以降に実施設計の作成、県の認可を得て、令和五年度の工事着工を目的として進めていく。

『その他の質問』 五項目



しげおかひでこ
重岡秀子議員
(日本共産党)

市民病院の運営に係る市民の要望や意見をどのように聴取し対応しているか伺う

市民病院の運営に係る市民の要望や意見をどのように聴取し、また、どのように対応しているか伺う。

市長

意見箱への投書などにより
聴取し、対応については継続
的に確認を行っている

市民病院に対する要望及び
意見の聴取方法としては、
病院内設置の意見箱への投
書、病院への電話及びメー
ルのほか、職員等が直接受
けるものもある。また、市
役所において受けた意見も、
その都度、情報共有して対
応している。

寄せられた要望及び意見
は、市民病院において毎日
集約しており、毎朝のミー
ティングにおいて情報共有
しているほか、必要なもの
については、病院管理者ま
で報告して対応するととも
に、市の担当者も参加して
いる月一回の拡大カンファ
レンスにおいて、全ての事
案の分類と検討を行い、そ
の後の対応についても継続
的に確認を行っている。

今後、寄せられた要望
及び意見をしっかりと受け
止め、改善に努めていく。

『その他の質問』一〇項目



すずきあやこ
鈴木絢子議員
(会派に所属していない)

伊豆半島ジオパークにつ
いて、世界ジオパーク再認定
に向けた取組を伺う

伊豆半島ジオパークにつ
いて、二〇二二年のユネス
コ世界ジオパークへの再認
定に向け、市民がよりジオ
を身近に感じ、地域全体で
盛り上げることが認定に向
けた一歩であること、また
コロナ収束後の本市の観光
においても重要な役割を果
たすと考えることから、今
後の世界ジオパークの再認
定に向けた本市の取組につ
いて伺う。

市長
各ジオサイトの磨き上げを
継続していく

これまでの本市の取組と
しては、一碧湖観察橋の改
修や遊歩道のウッドチップ
舗装整備を行ったほか、門

脇駐車場周辺の歩行者用看
板を多言語化するなど、各
ジオサイトの磨き上げと訪
れる来誘客の利便性向上に
つながる整備を行ってきた
ところである。

今後においても、各ジオ
サイトの磨き上げを継続し
ていくとともに、本市の拠
点施設であるジオテラス伊
東の魅力向上を図る取組に
ついて、積極的に進めてい
く。

『その他の質問』五項目



なかだよしまさ
仲田佳正議員
(会派に所属していない)

奥野ダム周辺の環境整備
について伺う

本市の新たな観光スポッ
トでもある、奥野ダム周辺
の環境整備として、飲用水
道の整備や、損傷したベン
チ、ログハウス等施設の改
修をすべきと考えるが、い
かがか。

市長

利用者の声を伺いながら、
協議・検討していく

奥野ダム周辺施設のうち、
ログハウスやエコーブリッ
ジの周辺では、市の水道を
整備することが困難なため、
井戸水を利用している。以
前は、奥野ダムを管理する
熱海土木事務所が飲用でき
るよう管理していた経過も
あったが、現在は飲用水と
して利用できないため、蛇
口付近に飲用不可である旨
を表示し、注意喚起を行っ
ている。今後も周知を継続
するとともに、飲用水とし
て利用するための対応につ
いて、協議、検討していく。
周辺施設の維持管理は委
託しており、軽微な修繕は
その中で順次実施している
が、ログハウスの腐食の修
繕は規模が大きいため、未
実施となっている。今後、
年一回実施されている安全
点検の結果も踏まえ、優先
順位をつけた中で計画的な
修繕を実施していく。

『その他の質問』三項目

市議会内の会派構成

(令和二年一〇月一日現在)

■正風クラブ

佐山 正 議員

佐藤 周 議員

◎宮崎 雅薫 議員

青木 敬博 議員

■公明党

鳥居 康子 議員

篠原 峰子 議員

◎長沢 正 議員

■清和会

四宮 和彦 議員

杉本 憲也 議員

◎井戸 清司 議員

■自民・伊東新時代

大川 勝弘 議員

中島 弘道 議員

◎杉本 一彦 議員

■日本共産党

佐藤 龍彦 議員

◎重岡 秀子 議員

■会派に所属していない

田久保眞紀 議員

仲田 佳正 議員

鈴木 絢子 議員

浅田 良弘 議員

石島 茂雄 議員

(◎) 会派代表者、

会派構成議員は議席順)



た く ま き 田久保真紀議員
(会派に所属していない)

都市計画税の活用に関し、その状況及び市民への周知について伺う

本市の都市計画税の活用状況を伺う。また本税は市内全域が課税対象となっていることから、活用状況について市民への周知が必要と考えるが、いかがか。

市長

法に基づく事業に充当しており、今後、分かりやすい資料の公表に努めていく

都市計画税は、都市計画法に基づく都市計画事業、土地区画整理法に基づく土地区画整理事業、そのために借り入れた市債の償還に充当できる目的税であり、本市で対象となる施設等は、都市計画街路、都市公園、下水道、都市下水路、環境美化センター、斎場、

霊園である。令和元年度は、当該施設の事業費として衛生費、土木費、公債費へ充当した。入湯税や都市計画税など目的税の使途は、予算編成時には予算案参考書、

決算時には市政報告書において財源充当に関する資料を作成しているが、市民の皆様への周知は必要であると考え、今後、分かりやすい資料の作成及び公表に努めていく。

『その他の質問』 六項目



あさだよしひろ 浅田良弘議員
(会派に所属していない)

コロナ禍における会計年度任用職員等の就労状況について伺う

コロナ禍においては、労働現場の変化により、厳しい雇用情勢が続いているが、本市が所管する教育関係や競輪従事者等の会計年度任用職員等について、コロナ

禍における就労状況を伺う。

市長

業務内容の変更等を行い、継続的な働く場の確保を図ってきた

各種事業の自粛や学校の臨時休業などの措置に伴い、本来の業務へ従事することができなくなった会計年度任用職員や競輪事業臨時従事員については、新たに生じた特別定額給付金事務への支援のほか、各施設における大規模清掃や衛生管理の充実など、業務内容の変更等による柔軟な対応により、継続的に必要な業務に従事させることで働く場の確保を図ってきた。

今後についても、引き続き、職員の柔軟な勤務体制を確保するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた組織全体としての業務体制の確保に努めていく。

『その他の質問』 七項目



いしじましげお 石島茂雄議員
(会派に所属していない)

阿久悠ロード及び八代亜紀氏が歌った舟唄の記念碑等の建立に関し見解を伺う

昨年の一二月定例会においても取り上げたが、本市にゆかりのある著名人に関する観光文化施設について、阿久悠氏の功績を称えるとともに、観光資源にもなり得る「阿久悠ロード」及び八代亜紀氏が歌った舟唄の記念碑等の建立に関して見解を伺う。

市長

地元住民や関係者と協議する中で慎重に検討していく

本市にゆかりのある阿久悠氏の功績を顕彰し、ゆかりのある場所をつないだ道を「阿久悠ロード」と位置づけ、観光資源として活用していくなどの取組については、どのような形で本市

の観光や文化に生かすことができるかについて、地元住民や関係者と十分協議する中で検討していく必要があると考えている。

また、舟歌の記念碑建立についても、その由来などを十分検証する必要がある、著作権などの課題等もあることから、慎重に検討していく必要があるものと考えている。

『その他の質問』 二項目

インターネット
中継のご案内

伊東市議会では、本会議の録画映像をインターネットで配信しております。

本紙面に掲載しております、九月定例会における大綱質疑、一般質問の様子もご視聴いただけますので、ぜひご覧ください。



※この録画映像は、伊東市議会の公式記録ではありません。各会議の公式な記録は、後日調製される会議録をご覧ください。

常 任 委 員 会 だ よ り

～常任委員会審査の中から～

ホームページにおいて、各委員会要点記録を公開しております。
伊東市ホームページ→伊東市議会→市議会会議録→委員会要点記録をご覧ください。



総務委員会

問 消費生活センターを設置することのメリットを伺う。

答 センターの標榜により信頼性の向上が見込めるほか、設置に係る広報活動等が相談件数の増加に結びつくことが期待できる。

また、国民生活センターが主催する、センター設置自治体を対象とした研修等が受講可能となり、相談員のスキル向上を図ることができるようになる。



消費生活センターは、月～金、9時～16時開所(休日を除く)

問 伊東市移住定住促進プランをホームページに掲載した意図を伺う。

答 移住定住は、仕事、住居、子育て、教育、医療福祉など、複合的な要因が判断基準となっているため、幅広い分野で魅力の底上げをする施策が必要であると考えている。

ホームページの充実や、現地ナビゲート事業における支援策の紹介など、伊東市が「住みやすいまち」であることを発信し、移住定住につなげていく。

観光建設委員会

問 令和元年度競輪事業特別会計歳入歳出決算において、新型コロナウイルス感染症拡大により受けた影響を伺う。

答 記念競輪及び国際自転車トラック競技支援競輪の2開催を既に終えていたため、決算への大きな影響はなく、一般会計への繰り出しも1億円を達成することができた。制限の多い状況は継続しているが、インターネット投票等のツールを最大限に生かしてさらなる経営健全化に取り組み、一般会計への繰り出しを継続できるよう努めている。



開設69周年記念
椿賞争奪戦決勝ゴールの様子

問 一般会計歳入歳出決算における、花でおもてなし事業の現状を伺うとともに、今後の事業展開に係る見解を伺う。

答 現に植栽されているブーゲンビリアの管理を継続しながら、年数がたったオレンジビーチ沿いの花壇の管理なども併せて、花咲く伊東整備事業を総合的に見直していきたい。

福祉文教委員会

問 池小学区に令和3年4月から新設される放課後児童クラブの開設経緯を伺う。

答 これまでも、夏休みなど小学校の長期休暇期間中には、放課後こども教室事業を活用して対応してきたが、近年、放課後の保育ニーズが高まる中で、放課後児童クラブとして民家を提供していただけるなど、地域の方々の協力が得られたことから、開設に向けた準備等が整うこととなった。

問 小学生ふるさと教室及び夢チャレンジクラブの運営課題について伺う。

答 本市の文化や恵まれた自然の中で様々な体験をすることを目的とした事業であり、安全面への配慮が必要となることから、人件費がかさんでしまうなどの課題があるが、今後は、より効果的な事業が展開できるよう、部分委託することも含め、様々な検討を行っていきたい。



様々な体験ができる
小学生ふるさと教室

新型コロナウイルス 感染症対策特別委員会

中間報告

1 令和二年七月一五日 委員会開催

まず、議会から当局に対して提出した、感染症対策等に係る政策提言に関し、その後の当局の対応状況等について、報告を求めるところとしました。報告は二日間に分けて行うこととし、この日は企画部、危機管理部及び健康福祉部の所管事項について、説明員の出席を要請し、部ごとに報告を受けました。

続いて、感染症に対する議会の対応について協議しました。本議題は、議長からの諮問を受け、本委員会の今後の議題として取り扱うべく、提案されたものですが、異議なく了承されたことから、次回以降の本委員会において、議会の対応マニュアルの作成について協議を進めることに決定しました。

2 令和二年七月二十九日 委員会開催

前回に引き続き、提言書に対する当局からの報告を受けるところとし、総務部、観光経済部及び教育部の所管事項について、部ごとに報告を受けました。

次に、感染症に対する議会の対応について、合議機関としての議会機能の保全を図るため、感染防止策をはじめとした議会対応についてマニュアルを作成することを目的とし、協議を進めることとしました。この日は、委員会に先立って配布したマニュアルのたたき台を基に全般的な意見を募り、次回の委員会において詳細に協議を進めていくこととしました。

※提言書、マニュアル及び中間報告につきましては市議会ホームページ「ムベージ」でご覧いただけます。



3 令和二年八月五日 委員会開催

感染症に対する議会の対応について協議しました。質疑、意見調整を経て、マニュアルの全ての項目について全委員から了承が得られ、本委員会として「伊東市議会新型コロナウイルス等感染症対応マニュアル」の案文の内容を決定しました。本マニュアルの案文をもって議長への答申とし、議会運営委員会での確認を経て、運用を開始することとしました。(※1)

次回の本委員会の開催については、九月定例会終了後に改めて日程調整を図ることとしました。

また、委員会終了後、ウェブ会議を試行実施しました。

※1 八月二十五日の議会運営委員会を経て、運用を開始しました。

4 令和二年八月三十一日 中間報告

令和二年九月定例会初日において、本特別委員会の中間報告を行い、異議なく了承されました。

閉会中の議会活動

令和2年6月定例会閉会から
令和2年9月定例会開会まで

- 7月15日(水) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 7月27日(月) 議会報編集委員会
- 7月29日(水) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 7月30日(木) 常任観光建設委員会協議会
- 8月 5日(水) 新型コロナウイルス感染症対策特別委員会
- 8月20日(木) 常任福祉文教委員会協議会
- 8月25日(火) 議会運営委員会

12月定例会の予定

11月30日(月)
開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会において正式に決定します。
詳細は市議会ホームページにてご確認ください。

編集後記

汐吹公園駐車場に車を止めると大きな看板が。伊豆半島は「南から来た火山の贈りもの」のフレーズと、火山活動の歴史解説、伊東八景の写真があり、地殻変動が生んだ自然美を「この目で見たい」と八景を巡る楽しみを誘発します。

令和三年から、ユネスコ世界ジオパーク再認定に向け審査が始まります。伊豆半島ジオパーク推進協議会の方に、その意義を伺いました。住民には当たり前の風景の歴史的価値を知り、地域を改めて知る機会となる。歴史を知ること、私たちの将来が見えてくる、と。

議会報編集委員会

- 委員長 佐藤 龍彦
- 副委員長 杉本 憲也
- 委員 佐藤 周
- 〃 篠原 峰子
- 〃 大川 勝弘

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ